ボーリング柱状図

	- リン 注	美	T			lo. 1		名 調査位置				-	東 京	都!	叮F	16年			~ 16 [£]	F 2月		<u> </u>	ングNo. シートNo. 北 緯 東 経					
総			-0.	FL 50m . 16m	度	180° 上 下 0°	90°	270° 90° 西 東	地 盤 幼 直 記 90	•													:					
標尺	標 高 (m)	層厚(m)	深度	柱状	土質区分		相対密度	村		孔内水位(m/測定月	深度	10cm 打擊 0]	ごとの 回数 0 20 ~ ~ 20 30	1 tr	T	準 貫	入 N_	試 <u></u> (((((((((((((<u>-</u>		原深			名	深度	料工	取 方	室内試験()日
	2 3 4 5	5 6.4			素掘り	7.3		GL-7.00mまで素掘り。 砂礫層は、GL-6.45mレ	小深である。	日				(Cill.	// o		20	30	40	50	60							-
	7 8 9		71 12.		砂礫	暗褐	非常に密な	全体に粘性土を若干名 礫径は、 φ5~25mm程 主体で、マトリックン 砂。 所々、僅かであるが れる。 GL-7.40mより φ30~5 混じる。 GL-8.30m以深、 φ90~ 石が多く混じる。 GL-10.40~10.55mの 混じり粘土を挟む。	逸水が認めら 30mmの玉石が ~110mmの玉		7.15 7.43 8.15 8.26 9.15 9.24 10.15 11.22 12.15 12.16	50 8 50 7 50 1	20 18 8	50 8 28 50 11 50 9 50 8 50 11 50 9	136 - 167 - 188 - 214					→ →								2 18